

宮古島市城辺方言の音韻の研究 旧城辺町史のための調査資料を中心に

島尻 澤一（宮古島市史編纂委員）

はじめに

今、情報化社会の中で地方の独自性が希薄になり、村落共同体の生活を支え、地方の文化を育んできた方言や民俗行事、歌謡、芸能、祭事等が消滅の危機に瀕している。特に村落共同体のコミュニケーションの手段であった方言は、テレビやラジオ、新聞、活字文化等、マスメディアの急激な発達により、その機能を失いつつあるばかりか消滅するのは時間の問題といわれている。しかし、そんな危機的な状況が進む中、最近では地方の文化の独自性が見直され評価される中で、それらを保存していくこうという取り組みがあちこちの民間の研究団体や地方自治体などによって起こっている。

旧城辺町でも失われていく旧城辺町の方言を、活字として保存していくことになり、当時町史のなかで言語学的な中身を知させていくことになった。旧城辺町には、多くの行政区があるが、ここでは旧城辺町の方言の特徴を保持していると思われる城辺村成立時の行政区、友利、保良、福里、比嘉、新城、西里添、下里添、長間、砂川の9つの村落共同体を中心に調査し記録した。

I 調査地旧城辺町の概略

「現在の旧城辺町域の村々は、明治5年琉球藩、同12年沖縄県の所管となり、同29年宮古郡に所属。砂川間切りに、明治25年下里添村、同27年頃西里添村が起立。同41年島嶼村制により、砂川間切りの西里添、福里、保良、新城、砂川、友利の7か村と平良間切りの比嘉、長間の2か村をもって城辺村が成立した。その後、昭和22年(1947)7月1日、城辺村に町制施行して城辺町が成立し

た。面積は、57.90 km²。宮古島の東端に位置し、おおむね台形をなし、北は平良市、西は上野村に接し、北東及び南は太平洋に面にする。全体は、第3世紀島尻層群の泥岩を基盤として、表面が琉球石灰岩によって覆われ、地形は先般的にきわめて平坦である。農業を主とした主な官金作物はサトウキビである」(角川地名大辞典・角川書店より引用)

今度の調査は、城辺村が成立した明治41年に当時の9か村、西里添、福里、新城、砂川、友利、比嘉、長間の9集落を対象とした
(1983年5月30日・沖縄大百科事典・沖縄タイムス社)

「旧城辺町の地図」



II 琉球方言の下位区分における宮古本島方言

旧城辺町方言は、琉球方言の下位区分「宮古本島方言」の一方言である。琉球方言とは、奄美大島、沖縄本島、宮古群島、八重山群島の4つの群島で話されている方言の総称である。琉球方言は、北海道から九州までをおおう本土方言と対立するほど固有な特徴を持っている。琉球方言の下位区分は、沖縄語辞典(国立国語研究所編)による

《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
保良方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
砂川方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
共通語 西里添方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
下里添方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
新城方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
新嘉方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
長間方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
福里方言
《亥》／'wi／ [bī :] 〈びー〉
《居入る》／'wi'ru／ [bī :] 〈びー〉
比嘉方言
② ② /'we/が/bi/に対応する語例
共通語 友利方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉
《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
保良方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉
《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
砂川方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉
《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
共通語 西里添方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉

《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
下里添方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉
《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
新城方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉
《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
長間方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉
《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
福里方言
《酔う》／'we'hu／ [bju :] 〈ビュー〉
《餌》／'wesa／ [bidu] 〈ビドウ〉
比嘉方言
③ ③ /wa/が/ba/に対応する語例
共通語 友利方言
《割る》／'waru／ [baī] 〈ペイ〉
《忘れる》／'wasuteru／ [baſi] 〈バシ〉
《笑う》／'wara'u／ [barau] 〈バラウ〉
保良方言
《割る》／'waru／ [baī] 〈ペイ〉
《忘れる》／'wasuteru／ [baſi] 〈バシ〉
《笑う》／'wara'u／ [barau] 〈バラウ〉
砂川方言
《割る》／'waru／ [baī] 〈ペイ〉
《忘れる》／'wasuteru／ [baſi] 〈バシ〉
《笑う》／'wara'u／ [barau] 〈バラウ〉
共通語 西里添方言
《割る》／'waru／ [baī] 〈ペイ〉
《忘れる》／'wasuteru／ [baſi] 〈バシ〉
《笑う》／'wara'u／ [barau] 〈バラウ〉
下里添方言
《割る》／'waru／ [baī] 〈ペイ〉
《忘れる》／'wasuteru／ [baſi] 〈バシ〉
《笑う》／'wara'u／ [barau] 〈バラウ〉

- 2003 城辺町史資料 6 「ぐすくべの方言語彙」（上）
～友利・砂川・下里添・新城・保良
- 2004 城辺町史資料 6 「ぐすくべの方言語彙」（下）
～西里添・福里・長間・比嘉
- 平成 2 年 城辺町史第 5 卷民話編
- 2000 城辺町史第 6 卷歌謡編 仲宗根 政善
- 1987 「琉球方言の研究」新泉社
- 1983 「今帰仁方言辞典」角川書店 名嘉真 三成
- 1992 「琉球方言の古層」第一書房 本永 守靖
- 1994 「琉球圏生活語の研究」 春秋社 「宮古方言の音韻」 「平良方言の音韻」宮古学術調査
- 1968 「宮古諸島学術調査報告（言語・文学）」
富浜定吉
- 2013 宮古伊良部方言辞典 沖縄タイムス社 いらぶの自然編集委員会
平成 2 年 伊良部の自然・動物編・伊良部町 角川
日本地名大辞典・角川書店